科目ナンバリング	U-LAS01 20020 LJ38						
授業科目名 <英訳>	日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家） Topics in Japanese History (A Court Noble and a Samurai Family of the Sengoku and Syokuho Periods)			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 尾下　成敏		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	金1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

歴史学とは、どのような学問であるのかを理解することを目的とし、そのための具体例として、日本の中近世移行期（１５世紀半ば～１７世紀半ば）の政治史・文化史を学ぶ。今年度は蹴鞠に見る公家と武家の交流を基軸に据え、最新の学界動向を踏まえながら、講義を進める予定である。

[到達目標]

日本の中近世移行期（１５世紀半ば～１７世紀半ば）の政治史・文化史の展開を正確に理解する。

[授業計画と内容]

1　イントロダクション、蹴鞠とは？（1）
2　蹴鞠とは？（2）
3　日本蹴鞠史概論（1）
4　日本蹴鞠史概論（2）
5　日本蹴鞠史概論（3）
6　日本蹴鞠史概論（4）
7　日本蹴鞠史概論（5）
8　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（1）
9　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（2）
10　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（3）
11　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（4）
12　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（5）
13　１６世紀の文化・芸能と蹴鞠
14　蹴鞠史研究の課題
＜定期試験＞
15　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

・成績評価は、定期試験（筆記・論述）と平常点（コメントシート提出）をもっておこなう。配点比率は、定期試験８０％、平常点２０％。

日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）(2)へ続く↓↓↓

日本史各論 （戦国・織豊期の公家と武家）(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・授業前：１）高校日本史の教科書や学習参考書のほか、『天皇の歴史』（講談社学術文庫）、末柄豊『戦国時代の天皇』（山川出版社）などを読むことが望ましい。２）蹴鞠の動画がyoutubeにアップされているので、是非見てほしい。
・授業後：ノートを整理し、授業の内容を振り返ることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

高校程度の日本史の理解を前提に講義を進めるので、高校で日本史を履修していない者は、教科書もしくは学習参考書の当該部分に、目を通しておくことが望ましい。